

# コムズスマシ

*Gyrinus curtus* Motschulsky  
コウチュウ目・ミズスマシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

1960年代以降全国的に急速に減少した。現在では生息地はかなり局所的である。今回の調査では確認できず、県内における近年の生息情報は不足している。

## 種の特徴

体長 5.5～6.0 mm。体型は卵型。黒色で強い光沢があり、上翅はやや隆起し中央部で最も幅広い。平地～丘陵地の池沼、水田、河川の淀みに生息。水面を群泳し、水面に落ちた小昆虫等を捕食する。

## 分布

北海道～九州に分布。県内では旧武生市“国高村”に戦前の記録、福井市、敦賀市、小浜市遠敷に戦後間もない頃の記録がある。あわら市福良池で比較的最近の記録がある。

## 生息を脅かす要因

湖沼開発、湿地開発による生息環境の悪化に加え、管理放棄による溜池や水田の消失、農薬汚染や水質汚染による影響も大きいと考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、石川県自然環境課（2009）、環境省（2015）、上野ら（1985）

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○						○	○				○

# ヒメミズスマシ

*Gyrinus gestroi* Régimbart  
コウチュウ目・ミズスマシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

もともとあまり多い種ではなかったが、1960年代以降全国的に急速に減少し、現在では生息地はかなり局地的とされる。近隣では石川県で絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。県内では戦前の記録があるのみで、現在の生息状況については不明である。

## 種の特徴

体長 4.6～5.2 mm。体型は卵型。黒色で強い光沢があり、上翅は隆起する。平地～丘陵地の池沼、水田、河川の淀みに生息し、水生植物の豊富な環境に多い。水面を群泳し、水面に落ちた小昆虫等を捕食する。

## 分布

本州～九州に分布。県内では敦賀市で戦前の記録があるのみ。

## 生息を脅かす要因

県内で近年の生息記録がないため詳細は不明だが、湖沼開発、湿地開発による生息地の消失のほか、管理放棄による溜池や水田の消失、水質汚濁、農薬汚染の影響を受けるものと考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、石川県環境部自然環境課（2009）、環境省（2015）、上野ら（1985）

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

# ヤマトホソガムシ

*Hydrochus japonicus* Sharp  
コウチュウ目・ホソガムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

以前は比較的普通の種であったようだが、近年全国的に激減し、生息地も少なくなっている。本県では1982年あわら市東山の記録以来確認されていない。

## 種の特徴

体長 2.6～3.1 mm。体型は細長く、両側はほぼ平行。体色は黒色で金属光沢を帯びる。水生だが泳げず、水中の堆積物等につかまって歩行する。幼虫・成虫ともに植物食と考えられている。灯火にも飛来する。

## 分布

国内では本州～琉球列島にかけて分布する。今回の調査は県域の広範囲で行ったが発見できなかった。

## 生息を脅かす要因

生息地の開発による消失、水質の汚染、アメリカザリガニ等の侵略的外来種の侵入。県内での生息状況の把握が望まれる。

参考文献 環境省（2015）、佐藤（1978）、福井県自然環境保全調査研究会（1985）

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

昆虫類